

【普通作物】の【少雨・干ばつ】対策について <10月>

宮崎県総合農業試験場専門技術センター

【普通期水稻】（登熟期～成熟期）

（1）予想される被害状況

- ① 不稔や登熟不良が発生し、品質低下や減収となる。
- ② ウンカが多発しやすくなる。

（2）事前対策

- ① 水系毎に配水計画を定め、効率的に給水する。
- ② ほ場内に通水用の溝やポリチューブ、波板等を設置し効率的に配水する。
- ③ ウンカの発生に注意し遅れないように防除する。
- ④ 海に近い河川や地下水から給水する場合は、海水の混入に注意する。

（3）事後対策

- ① 海水の混入があった場合は、真水の給水に努め塩分濃度低下を図る。
- ② 土壤乾燥が続いた後に、急に湛水すると青立ちが発生する場合がありますので、間断かん水で管理し徐々に湛水に慣らす。
- ③ 成熟期に達した稲は、速やかに収穫する。

【大豆】（莢肥大期～黄熟期）

（1）予想される被害状況

- ① 生育が不良となったり、莢の肥大が悪くなる。

（2）事前対策

- ① 用水路から入水が可能な場合は、畦間に通水する。なお土壤が過湿になると生育に影響を与えるので、速やかに排水する。

（3）事後対策

- ① カメムシ等の発生に注意し、遅れないように防除する。

【秋ソバ】（開花期～子実肥大期）

（１）予想される被害状況

- ① 生育や子実肥大が不良となる。

（２）事前対策

- ① 用水路から入水が可能な場合は、畦間に通水する。なお土壌が過湿になると生育に影響を与えるので、速やかに排水する。
- ② 雑草が繁茂すると水分や養分を収奪するので、条播きでは除草を行う。

（３）事後対策

（※事前対策により管理を行う。）